

特別支援学級の 1クラス

8人を6人に。

2学年以内で 学級編制して ください。

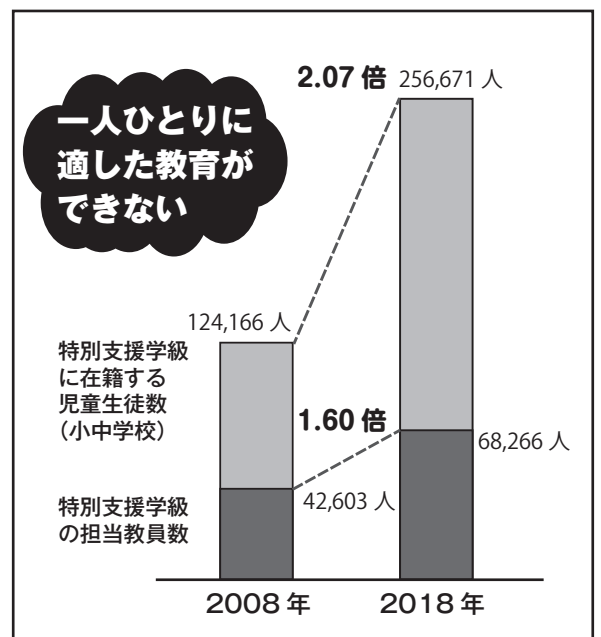


小学校、中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が急増し、10年間で約2倍になっています。様々な障害や発達段階の子どもが在籍しているため、一人ひとりに丁寧な指導をしたくても、担任1人で、8人の子どもたちに対応するには限界があります。

また、小学1年生と6年生では、課題がかけ離れており、同じクラスで生活するには無理があります。中学校3年間は、思春期を迎え、進路の悩みもあり、体と心の変化の個人差が特に大きい時期です。1学級の上限を6人とし、小学校も中学校も学年に配慮した学級編制をすることで、一人ひとりに合わせた丁寧な指導ができます。

こんな子どもたちがいます

- 知的障害の子ども
(学習課題がさまざま、生活面でも支援が必要…。
→ゆっくり関わり丁寧に学習を積み重ねていきます)
- 情緒障害の子ども
(ゲームで負けて怒ってしまう、不安の裏返しの暴言や暴力…。
→気持ちを受け止めながら対応します)
- 発達障害の子ども
(音に敏感、字の読み書きが苦手、気持ちのコントロールが苦手…。
→それぞれのつまづきに合わせた指導をします)
- 聴覚・視覚・肢体障害の子ども
(見えにくい、聞こえにくい、マヒや車いす…。
→一人ひとりの障害に合わせて指導方法を工夫します)
- 医療的ケアの必要な子ども
(痰の吸引やインスリン注射、経管栄養…。
→看護師さんと協力しながらの対応が必要です)



要請署名にご協力ください

全日本教職員組合障害児教育部・教組共闘連絡会

〒102-0084 千代田区二番町12-1 TEL 03-5211-0123